

第1問 (20点)

次の取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、各取引の下の勘定科目の中から最も適切と思われるものを選び、記号で解答すること。

1. 決算にあたり、本店は支店より当期純利益¥800,000を計上した旨の報告を受けた。なお、当社は支店独立会計制度を導入している。このとき、本店側の仕訳を答えなさい。

ア. 支店 イ. 繰越利益剰余金 ウ. 本店 エ. 現金 オ. 損益 カ. その他資本剰余金

2. 決算に際して、当座預金口座と当座預金勘定の残高を確認したところ、差異が生じていた。原因を調査した結果、決算日に売上代金¥600,000を銀行の夜間金庫に預け入れていたが、銀行の営業時間を過ぎていたため、当日の入金としては処理していなかった。また、広告費の支払いのために振り出した¥500,000の小切手が手許に残っていることが判明した。

ア. 普通預金 イ. 当座預金 ウ. 広告宣伝費 エ. 未払金 オ. 現金 カ. 現金過不足

3. 沖縄株式会社は香川株式会社に対して商品Cを1個あたり1,000円で販売しており、1か月あたりの販売個数が1,500個に達した場合、毎月末において1個あたり100円の金額を割り戻し、売掛金と相殺することとしている。香川株式会社に対する当月の販売個数が1,500個と見積もられているなか、本日800個売り上げた。

ア. 契約資産 イ. 返金負債 ウ. 売掛金 エ. 契約負債 オ. 未収入金 カ. 売上

4. 岩手株式会社は、秋田株式会社に商品を売り上げた際に発生していた売掛金¥520,000のうち、¥300,000については秋田株式会社の承諾を得て電子記録債権の発生記録を行った。また、残額については、群馬株式会社振出、秋田株式会社宛の約束手形を裏書譲渡された。

ア. 支払手形 イ. 受取手形 ウ. 売掛金 エ. 買掛金 オ. 電子記録債権 カ. 電子記録債権売却損

5. 商品¥20,000（税抜金額）をクレジット払いの条件で販売した（三分法により記帳）。また、信販会社への手数料（販売代金の2%）は販売時に計上する。なお、消費税の税率は10%とし、税抜方式で処理するが、クレジット手数料には消費税は課税されない。

ア. 売上 イ. 売掛金 ウ. 支払手数料 エ. 仮受消費税 オ. 仮払消費税 カ. クレジット売掛金

第2問 (20点)

次の固定資産に関連する取引（×9年4月1日から×10年3月31日までの会計期間）の〔資料〕にもとづいて、問1～問3に答えなさい。なお、減価償却に係る記帳は直接法によることとし、決算にあたっては英米式決算法にもとづき締め切ること。ただし、勘定記入や仕訳を行うにあたり、勘定科目等は、各問の下から最も適当と思われるものを選び、記号で解答すること。

〔資料〕 固定資産関連取引

取引日	摘 要	内 容
4月1日	前期繰越	建物（取得：×0年4月1日 取得価額：¥43,200,000 残存価額：ゼロ 耐用年数：50年）
同 上	リース取引開始	自動車のリース契約を締結し、ただちに引渡しを受け、使用を開始した。 ・年間リース料：¥576,000（後払い） ・見積現金購入価額：¥2,400,000 ・リース期間：5年 ・減価償却：残存価額ゼロ 定額法 ・リース取引の会計処理：ファイナンス・リース取引に該当し、利子込み法を適用する
6月7日	国庫補助金受入	機械装置の購入に先立ち、国から補助金¥3,600,000が交付され、同額が当社の普通預金口座に振り込まれた。
7月28日	修繕工事完了	建物の修繕工事が完了し、工事代金¥840,000は小切手を工事業者に振り出した。なお、前期末に修繕引当金¥504,000を設定している。
9月1日	機械装置購入	機械装置（残存価額：ゼロ 200%定率法（償却率0.400））¥7,200,000を購入し、ただちに使用を開始した。代金のうち、¥1,440,000は現金で支払い、残額は小切手を振り出して支払った。
9月2日	圧縮記帳処理	上記機械装置に関し、6月7日に受け取った国庫補助金に係る圧縮記帳を直接控除方式にて行った。
12月1日	土地購入	子会社（当社の持株割合75%）から土地（子会社の帳簿価額：¥10,800,000）を¥16,800,000で購入した。代金は後日2回に分けて支払うこととした。
2月1日	土地代金一部支払	上記の土地代金のうち¥8,400,000を子会社に小切手を振り出した。
3月31日	リース料支払	上記のリース取引につき、年間のリース料を普通預金から振り込んだ。
同 上	決算整理手続	決算に際して、固定資産の減価償却を行う。ただし、期中に取得した機械装置については月割計算にて減価償却費を算定すること。

問1 総勘定元帳における建物勘定、機械装置勘定およびリース資産勘定への記入を行いなさい。

ア. リース債務 イ. 減価償却費 ウ. 固定資産圧縮損 エ. 次期繰越 オ. 諸口

問2 上記機械装置の会計上の耐用年数は5年であるが、税法上は8年（償却率0.250）である。そのため、税効果会計を適用した場合に必要な仕訳を示しなさい。法人税、住民税及び事業税の実効税率は30%である。

ア. 繰延税金資産 イ. 繰延税金負債 ウ. 法人税等調整額

問3 ×10年3月期の連結財務諸表を作成するにあたり、親子会社間における土地の売買取引に係る連結修正仕訳を、(1)未実現損益の消去と(2)債権債務の相殺消去に分けて示しなさい。

ア. 未収入金 イ. 土地 ウ. 未払金 エ. 非支配株主持分 オ. 固定資産売却益
カ. 非支配株主に帰属する当期純利益

第3問 (20点)

那須商事株式会社(決算日3月末)の資料にもとづいて、当期(x4年4月1日~x5年3月31日)の(1)本店の損益勘定及び(2)本店の総合損益勘定を作成するとともに、(3)本支店合併損益計算書を作成しなさい。なお、支店の純利益は決算日において本店の総合損益勘定に振り替える。

[資料I] x5年2月28日現在の残高試算表

残高試算表

借方	本店	支店	貸方	本店	支店
現金預金	1,252,800	922,000	支払手形	988,000	816,800
受取手形	640,000	468,000	買掛金	1,103,600	695,600
売掛金	900,000	712,000	貸倒引当金	20,400	16,400
繰越商品	662,000	532,000	減価償却累計額	200,000	96,000
満期保有目的債券	390,000	—	本店	—	449,200
建物	1,000,000	480,000	資本金	2,000,000	—
支店	449,200	—	繰越利益剰余金	264,000	—
仕入	4,300,000	4,084,000	売上	6,972,000	6,240,000
販売費	1,744,000	958,000			
一般管理費	210,000	158,000			
	11,548,000	8,314,000		11,548,000	8,314,000

[資料II] 3月中に行われた本支店間取引等

- (1) 本店は支店に現金¥10,000を送付した。
- (2) 支店は本店の売掛金¥20,000を現金で回収した。
- (3) 本店は支店に商品¥60,000(原価)を送付した。

[資料III] 期末修正事項

1. 期末商品棚卸高は次のとおりである。

本店：¥440,000

支店：¥304,000

なお、[資料I]の繰越商品は、期首の金額である。

2. 売上債権の期末残高に対し、本支店ともに2%の貸倒れを見積もる。(差額補充法)
3. 満期保有目的債券(額面金額¥400,000、償還期限5年、利率はゼロとする)は、当期首に発行と同時に取得したものであり、償却原価法(定額法)により評価する。
4. 建物について、本支店ともに定額法(耐用年数40年、残存価額ゼロ)で減価償却を行う。
5. 販売費の未払い 本店¥70,000 支店¥16,000
6. 一般管理費の前払い 本店¥30,000 支店¥12,000

第4問 (28点)

(1) (12点)

次の取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、各取引の下の勘定科目から最も適切と思われるものを選び、記号で解答すること。

1. 製造間接費予定配賦額と実際発生額の差額を予算差異勘定と操業度差異勘定に振り替えた。なお、月間の製造間接費予算額は846,000円、予定配賦額は815,000円、実際発生額は832,000円であった。

ア. 製造間接費 イ. 能率差異 ウ. 製品 エ. 操業度差異 オ. 仕掛品 カ. 賃率差異 キ. 予算差異

2. 当社では標準原価計算を採用しており、シングル・プランにより記帳している。製品1個当たりの標準直接材料費は2,500円であり、当月投入量は2,000個であった。なお、当月の実際直接材料費は4,800,000円であった。直接材料費の当月消費額に関する仕訳を示しなさい。

ア. 製品 イ. 製造間接費 ウ. 売上原価 エ. 仕掛品 オ. 材料 カ. 売上 キ. 減価償却費

3. 材料の消費価格差異を計上した。材料の月初在庫は400kg (購入原価1kg当たり430円)、当月仕入は1,400kg (購入原価1kg当たり410円)、月末在庫は300kgであり、棚卸減耗はなかった。また、実際払出価格は先入先出法により処理している。なお、材料費の計算には1kg当たり400円の予定消費価格を用いている。

ア. 材料消費価格差異 イ. 仕掛品 ウ. 材料 エ. 製品 オ. 製造間接費 カ. 売上原価 キ. 買掛金

(2) (16点)

当社は製品Xを量産しており、標準原価計算を採用している。次の〔資料〕にもとづいて、各問に答えなさい。

問1 答案用紙に記載されている諸勘定への記入を行いなさい。なお、勘定の記入方法はパーシャル・プランを採用する。

問2 答案用紙に記載されている諸勘定への記入を行いなさい。なお、勘定の記入方法はシングル・プランを採用する。

(解答上の留意事項)

1. 勘定科目の空欄は以下の用語の中から適切な用語を選び、記号で解答すること。

ア. 直接材料費差異 イ. 直接労務費差異 ウ. 製造間接費差異

2. 答案用紙の空欄はすべて埋まるとは限らない。

〔資料〕

1. 製品Xの原価標準

直接材料費：@750円×2トン=1,500円

直接労務費：@300円×3時間=900円

製造間接費：@600円×3時間=1,800円

4,200円

2. 直接材料はすべて工程の始点で投入する。

3. 製造に関するデータ

月初仕掛品：20台 (50%) 当月完成品：500台 月末仕掛品：40台 (50%)

なお、()内は加工進捗度を示す。

4. 実際原価データ

直接材料費：793,500円

直接労務費：454,500円

製造間接費：936,000円

5. 各費目のデータ

材料：月初、月末棚卸高はなかった。

賃金：月初、月末の前払い、未払いはなかった。

第5問 (12点)

製造間接費を予定配賦しているMI製作所の以下の資料にもとづき、全部原価計算による損益計算書と、直接原価計算による損益計算書をそれぞれ3期分作成しなさい。なお、原価差異は各期の売上原価に賦課すること。

[資料]

- 1. 販売単価 @5,000円
- 2. 製造原価
 - ① 変動製造原価 @1,200円
 - ② 固定製造間接費 @2,400円 (期間総額2,400,000円、正常生産量1,000個)
- 3. 販売費及び一般管理費
 - ① 変動販売費 @200円
 - ② 固定販売費及び一般管理費 400,000円 (期間総額)
- 4. 生産・販売数量等

	第1期	第2期	第3期
期首製品在庫量	0個	0個	100個
当期製品生産量	1,000個	900個	1,100個
当期製品販売量	1,000個	800個	800個

(注) 各期首・期末に仕掛品は存在しない。

まるっと完全予想問題集
第4回 答案用紙

受験番号 _____

氏 名 _____

2 級 ①

商 業 簿 記

総合点

採点欄
第1問

第1問 (20点)

	借 方		貸 方	
	記 号	金 額	記 号	金 額
1	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
2	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
3	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
4	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
5	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	

受験番号 _____

氏 名 _____

問2

借 方		貸 方	
記 号	金 額	記 号	金 額
()		()	
()		()	
()		()	
()		()	
()		()	

問3 (1) 未実現損益の消去

借 方		貸 方	
記 号	金 額	記 号	金 額
()		()	
()		()	
()		()	
()		()	
()		()	

(2) 債権債務の相殺消去

借 方		貸 方	
記 号	金 額	記 号	金 額
()		()	
()		()	
()		()	
()		()	
()		()	

採	点	欄
第	3	問

受験番号 _____

氏 名 _____

2 級 ④

商 業 簿 記

第3問 (20点)

(1) 本店の損益勘定

損		益	
仕 入 ()		売 上 ()	
販 売 費 ()		有価証券利息 ()	
貸倒引当金繰入 ()			
一 般 管 理 費 ()			
減 価 償 却 費 ()			
総 合 損 益 ()			
()			()

(2) 本店の総合損益勘定

総 合 損 益			
法人税、住民税及び事業税	484,720	損 益 ()	
繰越利益剰余金 ()		支 店 ()	
()		()	

(3) 本支店合併損益計算書

損 益 計 算 書

自×4年4月1日 至×5年3月31日 (単位：円)

費 用	金 額	収 益	金 額
期首商品棚卸高	()	売 上 高	()
当期商品仕入高	()	期末商品棚卸高	()
販 売 費	()	有価証券利息	()
貸倒引当金繰入	()		
一 般 管 理 費	()		
減 価 償 却 費	()		
法人税、住民税及び事業税	484,720		
当 期 純 利 益	()		
()			()

まるっと完全予想問題集
第4回 答案用紙

受験番号 _____

氏 名 _____

2 級 ⑤

工業簿記

第4問 (28点)

(1) (12点)

	借 方		貸 方	
	記 号	金 額	記 号	金 額
1	()		()	
	()		()	
	()		()	
2	()		()	
	()		()	
	()		()	
3	()		()	
	()		()	
	()		()	

(2) (16点)

問1

材 料

買 掛 金 ()	仕 掛 品 ()
	() ()
()	()

賃 金

現 金 ()	仕 掛 品 ()
() ()	
()	()

製 造 間 接 費

諸 口 ()	仕 掛 品 ()
	() ()
()	()

受験番号 _____

氏 名 _____

2 級 ⑥

工業簿記

仕 掛 品

前 月 繰 越	57,000	製 品 ()
材 料 ()		次 月 繰 越 ()
賃 金 ()		() ()
製 造 間 接 費 ()		() ()
() ()		
() ()		() ()

問2

材 料

買 掛 金 ()	仕 掛 品 ()
	() ()
() ()	() ()

賃 金

現 金 ()	仕 掛 品 ()
() ()	
() ()	() ()

製 造 間 接 費

諸 口 ()	仕 掛 品 ()
	() ()
() ()	() ()

仕 掛 品

前 月 繰 越	57,000	製 品 ()
材 料 ()		次 月 繰 越 ()
賃 金 ()		() ()
製 造 間 接 費 ()		() ()
() ()		
() ()		() ()

採 点 欄
第 5 問

受験番号 _____

氏 名 _____

第5問 (12点)

損益計算書 (全部原価計算)

(単位:円)

	第 1 期	第 2 期	第 3 期
売 上 高	()	()	()
売 上 原 価	()	()	()
原 価 差 異	()	()	()
計	()	()	()
売 上 総 利 益	()	()	()
販売費・一般管理費	()	()	()
営 業 利 益	()	()	()

(注)原価差異がゼロの場合は、「-」を記入し、それ以外の場合は、原価差異の有利不利に関わらず符号や記号を付さない絶対値のみを記入すること。

損益計算書 (直接原価計算)

(単位:円)

	第 1 期	第 2 期	第 3 期
売 上 高	()	()	()
変 動 売 上 原 価	()	()	()
変 動 製 造 マー ジ ン	()	()	()
変 動 販 売 費	()	()	()
貢 献 利 益	()	()	()
固 定 費	()	()	()
営 業 利 益	()	()	()